自然と生きる

リスの会の皆さんの取り組みを紹介します。 は、昆虫がすめる自然環境を守っている、塩尻キリギ その中には、絶滅しそうな昆虫もいます。理科の時間 自然の中で楽しそうに生きている昆虫たち。しかし、

塩尻に響け、キリギリスの声

激減した背景には、農薬の散布や 類とされています。キリギリスが の危険が増大している絶滅危惧Ⅱ ぜつめつきぐに しを求める人間の営みが影響して 道路の整備など、より便利な暮ら したい塩尻の動植物」でも、絶滅 塩尻市版レッドデータブック「残 なりました。18年3月に発行した は、ほとんど見ることができなく するキリギリス。実は、塩尻市で も言われ、イソップ物語にも登場 心地よい鳴き声から夏の風物詩と 「ギィーチョン ギィーチョン_

探して捕った成虫や、秋に産んだ 会員の皆さんが、近くの生息地を を放しました。放すキリギリスは、 間で約2、300匹の幼虫と成虫

前ばねをこす 鳴くのはオスで、 り合わせて、音を出します。



いると言われています。

く丘」と名付け、その後、3年 平方メートルを「キリギリスの鳴 市民プール北側の斜面3、80 きた平成5年には、小坂田公園の を皆さんに残しています。会がで 歳までの13人で、ふるさとの自然 尻キリギリスの会」。 66歳から83 渡り活動を続けているのは、「塩 尻市に呼び戻したいと、15年間に そんなキリギリスの鳴き声を塩 0



む管で、メスの特徴です。

しぜんはくぶつかん こんちゅう 自然博物館で昆虫を調べよう!

自然博物館は、「昆虫を通じて自然を観 る」をテーマに、動植物のことを学ぶ 博物館です。自然の不思議なこと、 に動植物について、觀たいこと、知り たいことがあったら、どんどん博物館 に行って、調べましょう。

夏休み特別企画

まっもとぼんち 「松本盆地にすんでいる昆虫展」

生きたカブトムシ、クワガタムシ、ナ ナフシやバッタなどを展示しています。

- ■期間 8月31日(日)まで
- 午前9時~午後5時 ■時間

(入館は午後4時半まで)

- しぜんはくぶつかん まさかだ 自然博物館(小坂田公園内)
- 300円 (中学生以下は無料)
- ■問い合わせ先 ☎ 0263⑤36342

キリギリスの生態



6回の脱皮を繰り返して、成 ^{ちゅう} 虫になります。



8月中旬以降に、 ^{たまご}う 卵を産みます。

とくちょう **特 徴**

体長40ミリメートル程度。体は、緑色または淡褐色で、前 ばね側面の緑色に黒点があります。はねの先端が腹部より 短いものがほとんどですが、まれに長いものもあります。 オスのはねの重なり合う部分が発音器です。初夏に成虫が ^{ぬき}れ、「ギィーチョン ギィーチョン」と鳴きます。

生息環境

くきたけ 草丈の高い草原や田畑の土手のやぶなど、日当たりが良く 草や低木が茂ったところに生息します。

では、

自然に繁殖するまでになり

いなどをしながら守り続け、

現がんざい

ゴミ拾

たちの大合唱で包まれています。

ました。今、8月は、キリギリス

める環境であって欲しい。いろいはなく、ほかの動植物とともにす「この地球が人間だけのもので ろな生き物が生息できる環境こそ わたしたちにとっても安心し

キリギリスの鳴く丘は、

管理し、工夫しながら、冬を越さ卵を、自宅で温度や湿度などをたまご、じたく みんながすんでいる地球 ふ化させた幼虫です。

願いを込めようか」と会長の新村幸雄さんは、 こえる日を待ち望んでいます。 活動により、徐々に広がってい て生活できる環境ではないでしょ 皆さんのそばで、「ギィー キリギリスの生息域は、この ギィーチョン」と鳴く声

チョ



った クモに捕まったキリギリス。 大変なことです。